

～産学金連携による水循環保全に向けて～

熊本ウォーター ポジティブ・アクション 始動イベントを開催

雨庭などの自然の機能を活かした設備“グリーンインフラ”[※]を使って、熊本地域の水の循環を守ることに取り組む「熊本ウォーターポジティブ・アクション」が始動するのにあたり、これを記念したイベントを開催いたします。

このアクションは、熊本県立大学、熊本大学、肥後銀行、サントリーホールディングス、日本政策投資銀行、MS&ADインシュアランスグループホールディングスが協働で開始し、地域のさまざまな主体が参加できる仕組みをつくり、グリーンインフラの普及を目指します。

これにより、熊本地域の水循環の保全とともに、洪水リスクの低減、暑さ対策や景観の改善、多様な生きものの生息地の回復など、多くの効果が期待できます。

豊かな生活と地域経済を支える「水の国くまもと」のさらなる発展に向けた活動を記念するイベントとなりますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

※自然環境が持つ多様な機能で防災や地球温暖化等の社会課題を解決し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める考え方や取組み。「雨庭」はグリーンインフラの一種で、地上に降った雨を、直接下水道や河川へ流さず、地下に浸透させる設備。公共や企業の施設だけでなく、個人の庭などに造ることもできる。

熊本ウォーター
ポジティブ・アクション
始動イベント

日時 2025.3.20(木・祝)
13:30▶16:00

会場 株式会社 肥後銀行本店 2階
(熊本県熊本市中央区練兵町1番地)

参加費 無料

開催方法 会場およびオンライン開催
(定員:会場400名、オンライン500名)

対象者 I. 熊本地域の水資源や自然環境に興味を持たれている一般の方
II. 熊本地域に関わる企業の環境・管理部門、総務・不動産部門、サステナビリティ部門の方
III. ネイチャーポジティブや地下水や水循環の保全、グリーンインフラに関心をもっている方

申込方法 QRコードまたは以下URLからお申し込みください。(締め切り:3月18日)

「熊本ウォーターポジティブ・アクション」始動イベント参加フォーム

<https://x.gd/7vxst>

※定員に達し次第締め切らせていただきます。会場の定員に達した場合はオンライン参加をお願いする場合がありますので、予めご了承ください。



プログラム

※プログラムは予告なく変更となる場合がありますので、ご了承ください。

第1部 始動の宣言(13:30▶14:30)

1. 熊本ウォーターポジティブ・アクションのご紹介(動画)
2. 始動によせて
3. 始動宣言
熊本県知事 木村 敬氏/
熊本市長・公益財団法人くまもと地下水財団
理事長 大西 一史氏/
環境省 大臣官房審議官 飯田 博文氏/
国土交通省 総合政策局 環境政策課長 清水 充氏
4. フォトセッション

第2部 シンポジウム(14:40▶16:00)

「熊本ウォーターポジティブ・アクション」で実現する未来

なぜ、この熊本でウォーターポジティブに向けた取組を開始するのか?各企業が行ってきたこれまでの取組と今後の役割や、本アクションの目指す方向性や可能性について議論します。

パネリスト：熊本県立大学 特別教授 島谷 幸宏/熊本大学 教授 皆川 朋子/
肥後銀行 地域振興部 部長 大野 隆/
サントリーホールディングス 常務執行役員 サステナビリティ経営推進本部長 藤原 正明/
日本政策投資銀行 常務執行役員 原田 文代/
MS&ADインシュアランスグループホールディングス 常務執行役員 本島 なおみ

ファシリテーター：公益財団法人くまもと地下水財団 事務局長 勝谷 仁雄氏/
TNFDタスクフォースメンバー※原口 真(MS&ADインシュアランスグループ)

※ TNFDとは「自然関連財務情報開示タスクフォース」のこと。企業が自身の事業活動と自然環境や生物多様性の影響を評価した情報の開示により自然の損失から回復へと資金の流れを変えることを目指す。タスクフォースは世界で40名のメンバーによって構成されています。

雨庭整備のメリットと

「熊本ウォーターポジティブ・アクション」に期待すること

本アクションは、市民・行政・企業などと幅広く協力しながら、ウォーターポジティブに向けた活動を行っていきます。既に先行して雨庭設置に取り組まれている方々より、事例紹介と本アクションへの期待をお話しいたします。

1. 熊本県立南陵高等学校
2. 株式会社オジックテクノロジーズ

主催：公立大学法人 熊本県立大学/国立大学法人 熊本大学/株式会社 肥後銀行/サントリーホールディングス株式会社/
株式会社 日本政策投資銀行/MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社